



第 82 号
平成 26年
3月 1日

久井南コセンだより

久井南コミュニティセンター

住所 三原市久井町山中野1337
電話・Fax 0847 - 32 - 6316

平成25年度フラワーアート教室閉講式

2月19日で平成25年度講座を終了いたしました。
平成25年度の作品成果は、本郷での生涯学習発表会で展示。
他グループとのアート展示競演でも一段とみごとに輝きました。
来期も5月から開講いたしますので、こぞって受講されますよう
お待ちしております。



最終回だよ全員集合



生涯学習発表会の展示
Only one in the world

ふるさと料理教室が生涯学習発表会で食事コーナーを担う



うどん300食・炊き込みご飯300食の奮闘



平成25年度の最終日を、2月23日(日)三原市生涯学習発表会の会場、本郷生涯学習センターでうどんと炊き込みごはんの食事コーナーで成果発表をしました。11:00~14:00の間で、さながら戦場の調理場で受講生の手ぎわよさが光りました。
平成26年度も同様に、ふるさとの食材を使いきる方向で教室を開講します。こぞって受講くださいますようお願いしております。

パソコン教室閉講式

平成25年度パソコン教室は2月26日で修了しました。
生涯学習発表会で一年間の学習成果を展示しました。
26年5月からも開講致しますが、PCソフトXPの情勢で
自前パソコン携行が受講条件となりますのでご了承下さい。



パソコン教室受講者全員の作品展示

平成26年度久井南コセン主催講座申し込み要項は三原市広報をござん下さい。

- ◎ フラワーアート教室 (5月~2月10回)(申し込み定員24名)
- ◎ ふるさと料理教室 (5月~2月10回)(申し込み定員25名)
- ◎ マイパソコン教室 (5月~2月20回)(申し込み定員22名)

(授業の主旨とPC業界の変遷から自前のパソコン必携・ソフトは windows 07~13に限定)

久井シルクロードに夢街道
人間とはいったい何者。輝きを放つ石や金属を探しては権威の象徴として収集。金、銀、ダイヤモンド、絹、真珠等、これら光り輝くモノへの執着の因は、人類の脱アフリカ大移動で生じたと言ふ。砂漠横断で水に渴き、やっとの思いで陽光にキラキラ輝く飲み水に出会えた時の喜びが源だと。さらには、絹と云う艶やかな布を求め、何千kmの交易路を確保したその想像を絶する物欲こそ人間固有のもの。
最近度々耳にする天蚕、山繭の利用に関する記事、神楽、能の衣装の刺繍に使つと。かつて久井でも里山のアチコチで見られ、利用した人もいたというこの山繭。家蚕の繭糸よりもみどり掛かつてきれいで強いという。羽を広げると十五cmというおおきなヤマユイ蛾は、ヒヨウモン蛾と比べればまるでゴジラと対決するモスラで怖いくらいだが毒は無い。出雲市や可部、東広島市では、防鳥ネットでクヌギやコナラの木を囲い、鳥の餌害から保護し、飼育に取り組んでいると聞く。五月中旬にふ化、七月に繭となり冬場の農閑期に糸つむぎ作業をこなす。天蚕の好評から市場では生糸一キログラム七十万円という取引とか。六十個の繭で二十グラムの生糸が出来るという。
かつて松茸と炭焼きで潤った久井の里山活用、松枯で荒廃した今の里山に、落葉広葉樹林の多様な活用法が陽の目を見れば、杉、ヒノキの花粉症や猪、鹿の人里出沒の減少化が図れる。かつてのにぎわいを呼ぶのはヒヨウモンモドキのようなモドキではなく、ヤマユイ天蚕やそのホダ木からとれるキノコかもしれない。よみがえる里山に見る夢は、かつての牛馬街道や石見銀山街道、あるいは松茸街道と言わせるような、現代の天蚕シルクロードが開通するか否か。遥かなる中継地久井楼蘭としては、里山に響く人々の喜声が聞こえる久井シャングリラ白昼夢の構想。その夢の里山へ、夢の中へ入って見たいと思いませんか♪

お問い合わせ、お申し込みは久井南コミュニティセンター・TEL Fax 32-6316までお電話下さい